

答申書

(「大芝高原将来ビジョン」について)

南箕輪村むらづくり委員会

令和4年4月

令和4年4月 19日

南箕輪村長 藤城 栄文 様

南箕輪村むらづくり委員会
会 長 足立 芳夫



「大芝高原将来ビジョン」に係る答申について

令和4年1月25日付け3地第285号で諮問されました「大芝高原将来ビジョン」について、以下のとおり答申いたします。

1. 検討の経緯と結果

令和4年1月25日から2回にわたりむらづくり委員会を開催し、「大芝高原将来ビジョン」についての検討を実施いたしました。検討の結果については、別添資料のとおりです。

「大芝高原将来ビジョン」についての検討結果

今回諮問を受けた大芝高原将来ビジョン（以下「ビジョン」）の案について、むらづくり委員会は2回の会議を行い、示された案に対する意見を集約しました。ビジョン案自体は、現状から施設整備などを行い変えていきたい部分のみを抜き出しているというものでありますが、むらづくり委員会としては、大芝高原をトータルで考える必要があると判断し、ビジョン案では触れていない内容に踏み込んだ部分もあります。その点をご理解をいただきたいと思います。

●ビジョンの策定について

大芝高原は、昭和40年代にスポーツ公園として開発が始まって以来、徐々に高原内の整備が進み、スポーツのみならず、観光、健康づくり、憩い、地産地消、防災など、多様な面を持つ、村のシンボルとして発展してきました。一方、最近では、既存施設の老朽化、ニーズの変化、松くい虫による松枯れの増、コロナ禍による利用者の減など、多くの課題に直面しており、転換期を迎えています。このような状況の中、村において「大芝高原将来ビジョン」を策定し、改めて大芝高原の方向付けを行う姿勢は、歓迎すべきことと考えます。

●ビジョンの方向性について

ビジョン案は、コンセプトを「大芝高原いやしの森 いつもいつまでも」としています。自然豊かな村民の憩いの場という志向を軸にしているものと理解します。一方で、南箕輪村第5次総合計画後期基本計画で、「施策2-5 スポーツ・レクリエーション活動の推進（3）スポーツ・レクリエーションの充実 ①大芝高原の整備充実」においてはスポーツ施設の充実に、「施策4-3 観光の振興（1）大芝高原の整備と活用」においては観光拠点としての充実に図ることが求められています。村民の憩いの場としての側面と、スポーツ公園・観光拠点としての側面とのバランスを取りながら、施設ごとに、村民の福利厚生か、或いは観光集客かという位置付けを明確にして、それに応じた整備と運営を行っていく必要があります。

●財源及び整備計画について

ビジョンを具現化していくためには、財政的な裏付けと、これに立脚した計画的な整備が不可欠です。ビジョン案で示されている施設の整備費用の総額は、基礎資料によると12億6,300万円で、この他に金額未定となっている施設が6か所あります。また、整備後は毎年維持管理費用を要します。これらの財源についての見通しを立てるとともに、整備の優先順位を精査し、どのようなスケジュールで実施していくかを具体的にする必要があります。ビジョン案を財

政的・工程的な見地から改めて検討し、困難と判断される施設については見直した上でビジョンを策定し、同時に財政計画、整備計画を明らかにするべきであると考えます。また、具現化に当たっては、他自治体の成功例、外部コンサルタント、教育機関等の知見も積極的に活用し、より良い公園づくりを目指すよう望みます。

尚、利用者負担については慎重に検討するように望みます。

●森林の整備について

気候の温暖化により、県内では松枯れ被害が年々広がっており、大芝高原においても松枯れが進行しています。ビジョン案にある森林づくりについては、速やかに実施する必要があります。新たな樹木の選定に当たっては、景観に十分配慮するよう望みます。

●道路の安全確保について

ビジョン案では、大芝高原内を、コンセプトの異なる6つのゾーンに区分しています。これらのゾーンを往来し様々な過ごし方ができることが、大芝高原の魅力であると考えます。しかしながら、現状では、大芝高原内には2本の道路が走っており、大型ダンプカーが走行するなど、道路をまたぐ移動は危険が伴います。各ゾーンを自由に往来するためには、道路の安全対策が重要ですので、安全対策についてビジョンに明記するよう望みます。

●個別の施設について

- ・プールの跡地利用として検討しているとされている体育館については、整備する場合には非常に大きな事業となりますので、慎重に検討するとともに、必要性、効果、費用、財源等について、村民に対して十分な説明を行い、理解を得る必要があります。
- ・大芝荘については、「取り壊しも一つの選択肢」としてはいますが、浴場を活かし、コテージや少人数用の宿泊施設へ改修するなど、宿泊機能を存続する可能性も検討するよう望みます。
- ・噴水は、整備後の維持管理が負担となり、結局廃止する例もあるので、必要性について十分検討する必要があります。
- ・オートキャンプ場・バンガローについては、十分なニーズがあると思われます。EV充電設備の整備など、更に充実を図るよう望みます。
- ・グリーンゾーンの犬の排泄物対策は、「ドッグラン設置」以前に、飼い主に持ち帰りを促すという考え方もあります。ドッグラン設置も含めた最適な方法を幅広く検討するよう望みます。
- ・大芝高原を道の駅としたことにより、道路を走行する商業車等が増えています。大芝高原利用者の安全のため、道の駅の必要性について検討するよう望

みます。

●ゾーンの名称について

「グリーンゾーン」「モリゾーン」は、それぞれどのような機能を持ち、どのように違うのか不明瞭と思われます。必ずしも片仮名にこだわらず、どんな機能を持つのかイメージしやすい名称とするよう検討を望みます。

●維持管理及び運営について

大芝高原内の施設等を十分に活かすためには、適切な維持管理及び運営を行うことが重要です。ビジョンに基づく整備を進めると同時に、維持管理及び運営のあり方についても改めて検討を行い、改善すべき点は速やかに改善する必要があると考えます。

●情報発信について

施設整備と並行して、施設利用者の確保を目的とし、SNS等を活用した情報発信やプロモーションを充実させる必要があると考えます。

●村民の合意形成について

事業について村民の合意形成を図るよう努めていただきたいと思います。

以上

「大芝高原将来ビジョン」についての検討に係るむらづくり委員会開催の経過

開催日		内容
第 15 回	令和 4 年 1 月 25 日	○質疑応答及び意見集約
第 16 回	令和 4 年 3 月 8 日	○質疑応答及び意見集約

むらづくり委員名簿

会 長	足 立 芳 夫	北原区推薦
会長職務代理者	富 岡 順 子	村長指名
委 員	永 由 政 美	久保区推薦
委 員	小板橋 紀 光	中込区推薦
委 員	加 藤 直 樹	塩ノ井区推薦
委 員	福 澤 豪	北殿区推薦
委 員	唐 木 茂 人	南殿区推薦
委 員	小 林 博	田畑区推薦
委 員	長 尾 章 夫	神子柴区推薦
委 員	丸 山 聡	沢尻区推薦
委 員	伊 澤 武 善	南原区推薦
委 員	水 もえみ	大芝区推薦
委 員	原 孝 壽	大泉区推薦
委 員	大井田 佐江子	村長指名
委 員	唐 澤 実	村長指名
委 員	唐 澤 喜 廣	村長指名
委 員	北 沢 博 仁	村長指名
委 員	杉 本 善 彦	村長指名
委 員	千 菊 夫	村長指名
委 員	穂 高 貴 志	村長指名
委 員	三 澤 澄 子	村長指名
専門委員	伊藤 裕之（令和4年3月7日まで）	アルプス中央信用金庫南箕輪支店
	市村 豊（令和4年3月8日から）	
専門委員	山 本 ゆかり	上伊那農業協同組合南箕輪支所
専門委員	上 野 謙 二	日本郵便南箕輪郵便局
専門委員	井 澤 孝 光	八十二銀行南箕輪支店
専門委員	石 坂 祐 三	連合上伊那地域協議会
専門委員	稲 田 久 人	伊那ケーブルテレビジョン
専門委員	真 子 浩	不動産鑑定士

敬称略